



きょうりゅう

恐竜はどこにいたの

化石が見つかった所にはいた

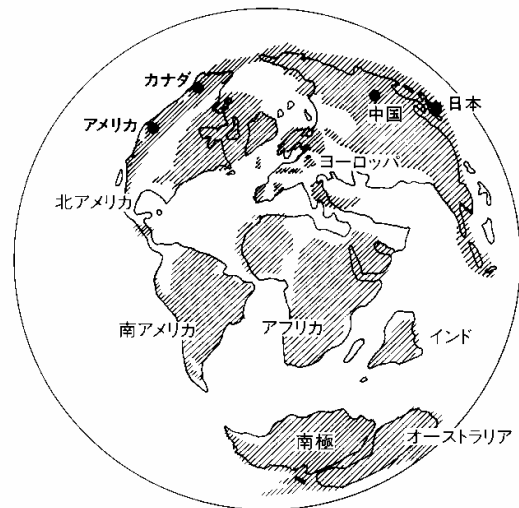
恐竜がいたかどうかは、今はその骨や歯などの化石や足あと、ミイラのようなもの、氷づけになったものなどでしか、知る方法はありません。恐竜がいたころの地層で、ほかの動物や植物の化石は見つかって、恐竜の化石が見つからなければ、そこには恐竜はいなかったといえます。

恐竜がいたころの地球は、大陸がくっついていた

恐竜がいたころは、北アメリカとアジア大陸は、シベリアの部分でつながっていました。今とはずいぶん形がちがう日本列島も、一部がアジア大陸とつながっていました。恐竜の化石がいちばんたくさん見つかっているのは、北アメリカ、ロシア、中国です。しかし、それ以外のヨーロッパやイギリス、インド、アフリカ、オーストラリア、南極大陸などでも、化石が見つかっています。日本でも、1978年に最初の恐竜の化石が見つかったから、研究が進むにつれて、あちこちで恐竜の化石が発見されてきています。

恐竜が生きていた、2億2000万年～6500万年前までの間、陸地だった所なら、たいてい恐竜がいたようです。

ただし、海の中にいた恐竜と見られるものは、まだ見つかっていません。恐竜に似た巨大な、は虫類の化石は、見つかっています。(監修・今泉 忠明)



今と地形がちがう、恐竜時代の地球(1億年ごろ)

